

## PoINT Storage Manager V6.6 の Windows ServerCore へのインストール検証(2021/4/12)

有限会社オプティカルエキスパート

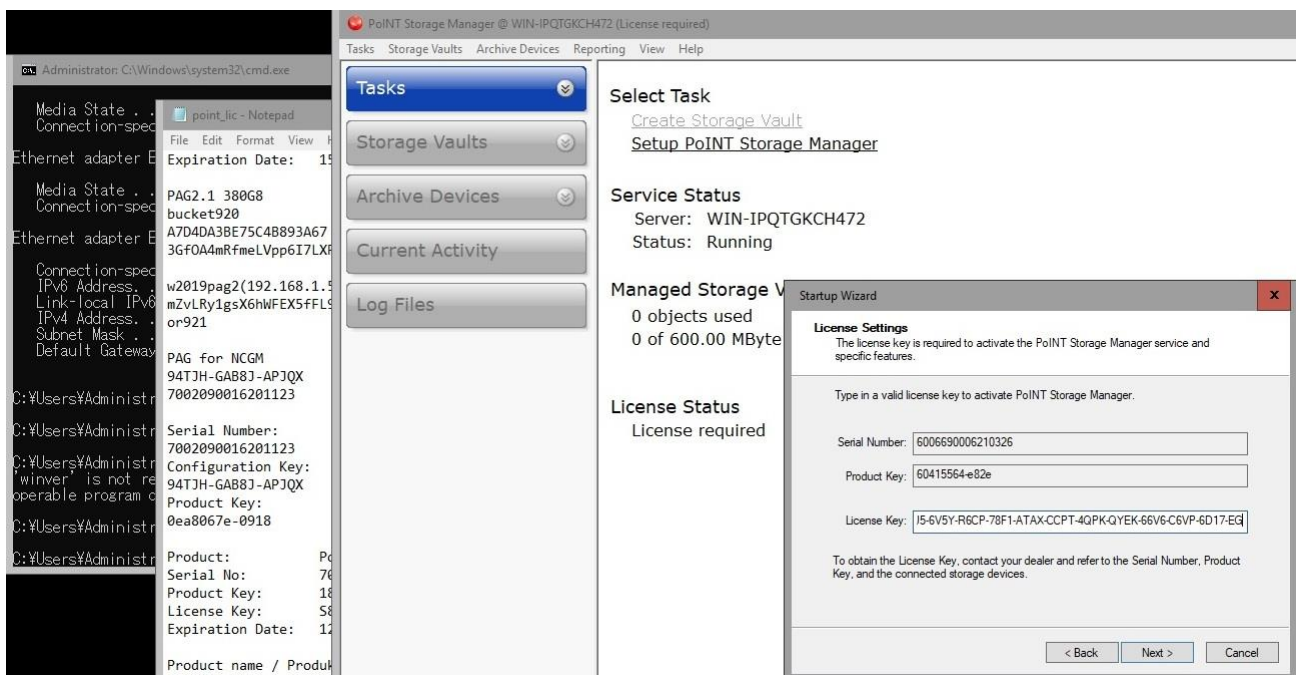
PoINT Storage Manager V6.6 から、最新の Windows Server がサポートされました。

サポートされている Windows の OS は、PSM V6.6 のサーバー要件では以下の通りです。

- Windows Server Versions 1903 through 20H2 – V6.6 からサポートされたバージョン
- Windows Server 2019
- Windows Server 2016
- Windows Server 2012 SP1 and 2012 R2

Version 1903 から 20H2 は、GUI の Desktop Experience が無い、Server Core としてリリースされています。そのため、Windows Explorer から、PSM のインストーラーや解凍後の setup.exe を実行出来ません。

ServerCore のコマンドラインからは、notepad.exe は実行出来るので、PSM のインストールに必要な、Configuration Key を USB メモリーから読み出すことも出来ます。USB メモリーのドライブレターは、diskpart.exe を実行し、list volume コマンドで表示されます。以下のスクリーンショットは、PSM をインストールし、評価ライセンスの入力画面になっています。



ServerCore での GUI ベースの管理方法として、ここでは ServerCore アプリ互換性オンデマンド機能(FOD)を使用した PSM V6.6 のインストールを紹介します。

ServerCore アプリ互換性オンデマンド機能(FOD)をインストールすると、Explorer や Device Manager を使用出来るため、今までの Desktop Experience の GUI がある動作環境と同様にインストール出来ます。FOD ですが、Microsoft の評価版のダウンロードページからダウンロード出来ます。但し、それをダウンロードしても、20H2 では正常に動作

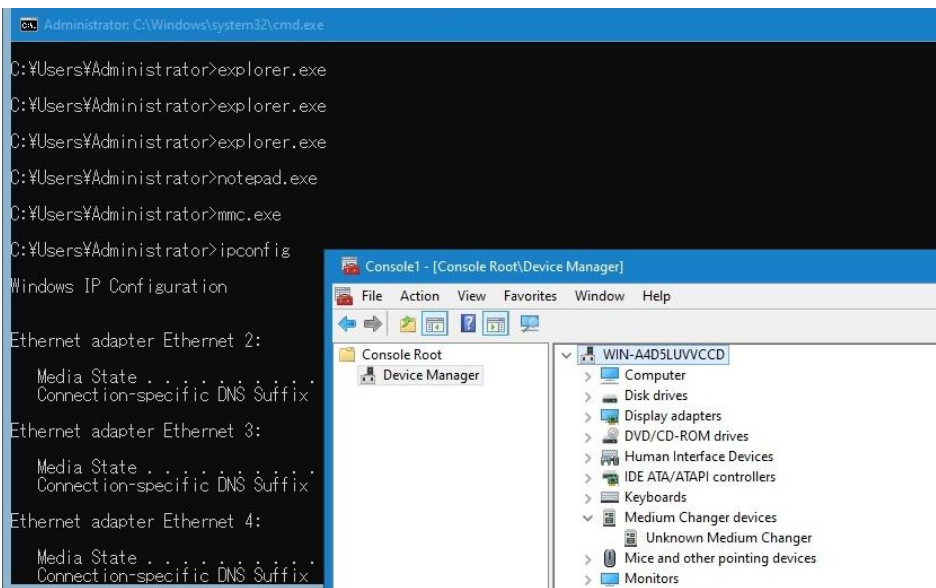
しませんでした。それで、オンラインから直接インストール出来るかどうか試したところ、問題無くインストールされました。

その際に実行したコマンドは以下の通りです。

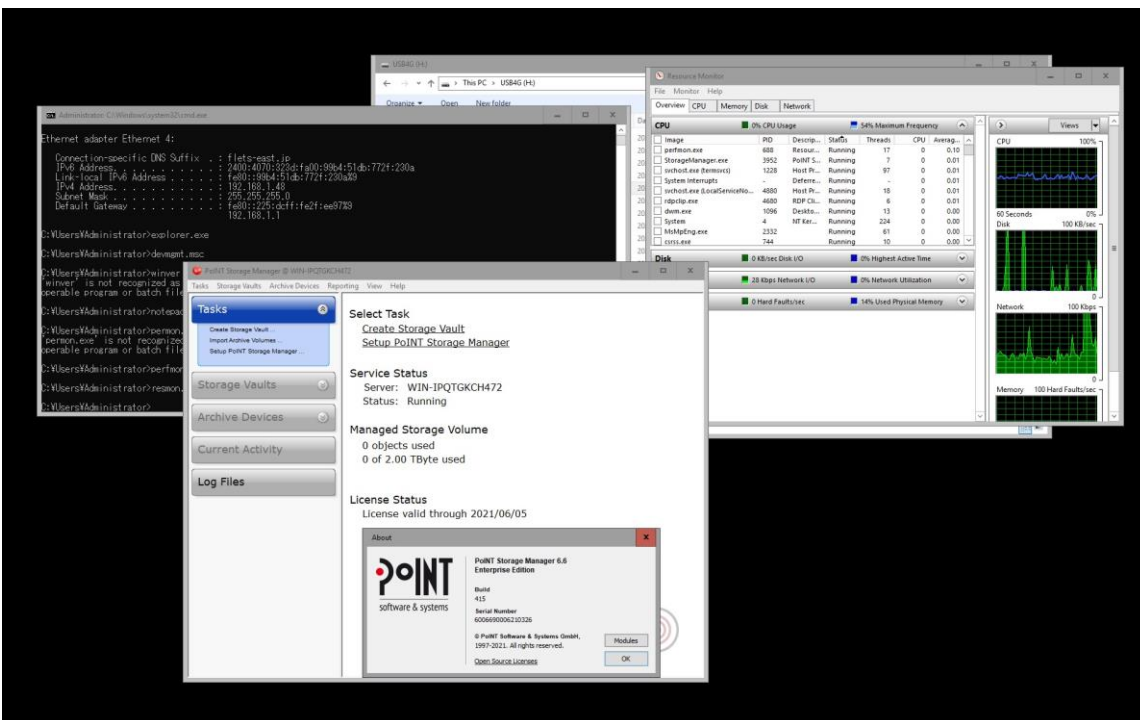
```
DISM /Online /Add-Capability
```

```
CapabilityName:ServerCore.AppCompatibility~~~~0.0.1.0
```

FOD がインストールされると、以下のスクリーンショットのように、Explorer や Device Manager を使用出来ます。



Explorer が起動すると、通常通り PSM をインストール出来ます。



PSM サービスのログは以下の通りで、20H2 Build 19042 で稼動し、接続されている LT0 ライブラリーと内蔵の LT05 ドライブも正常に認識されています。

